

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

全国的に少子高齢化社会を急速に迎えている中、地域社会の担い手として高齢者の果たす役割はますます重要であり、就業の拡大や会員の確保に取り組むとともに、財政基盤の安定を図るために事業の見直しをしました。

平成30年度の当センターの事業実績は、前年度と比較し減額の結果となりましたが、年間の収支は若干のプラスとなりました。就業機会の減少・会員の減少にもなり、仕事の受注を推進するために、事業所及び家庭訪問を行うなど就業の拡大とともに、会員を増やす努力を図る必要があります。

なお、年間を通して、会員の資質向上や安全・適正就業等にも取り組んでまいりました。

(1) 安全適正就業の推進

安全・適正就業推進員による会員の就業先への巡回指導を年間11回実施し、就業会員の安全適正就業に努めました。

安全委員会においては、事故0を目指して「就業者全体会議」、「竹山・平地林整備事業事前安全講習会」を開催するとともに、各会議等で安全の時間を作り安全就業の徹底に努めました。

- ① 11月12日： 里山・平地林再生事業事前安全教育を行い安全意識の高揚を図りました。(11名の参加)
- ② 11月22日： シルバー就業者全体会議において「安全就業について」の教育を実施しました。(49名の参加者)
- ③ 12月20日： 長生荘ボランティア清掃時に、「安全作業」についての教育を実施しました。(51名の参加者)

(2) 財政基盤の安定

シルバー人材センターを運営していくうえで、競争力や技術力の強化、そこに投資できる資本の確保は不可欠であり事業の見直しをしました。また、リスクの大きい事業の契約も一部解除しました。

- ① ふれあい館の管理運営契約の解除(平成30年9月30日限り)
- ② さつま芋事業からの撤退(平成30年度限り)
- ③ 町バス・町長車運転業務契約の解除(平成31年3月31日限り)

(3) 会員の確保

推進員による会員拡大の推進や会員による声掛けにより、会員の確保を図りました。

今年度の正会員数は、196名で、昨年度と比較し10名減となりました。新規会員として4名の加入がありました。

(4) 就業の開拓の推進

推進員による事業所や個人宅を訪問し、一人でも多くの会員にその希望と能力に応じた仕事が提供できるよう就業機会開拓の推進を図りました。

皆野町から指定管理者の指定を受けている「皆野町老人福祉センター」の管理運営や皆野町介護予防事業（ふれあい広場）の委託業務については、適正な運営を図りました。

(5) 会員の資質向上

会員の資質向上のための「長生荘管理会議」「シルバー就業者全体会議」において、外部講師を招き、皆野町の地元活性化活動・お客様を迎え入れる心構え等の講話を頂きました。

(6) 普及啓発活動の推進

当センターの広報誌・ホームページ及びみんなの皆野ふれあいまつりにおいて、当センターのPR活動に努めました。

(7) 組織活動の強化

当センターにおいて、会員の組織の活性化は、適正かつ円滑な事業運営を行なううえで不可欠であり、各組織において随時諸事業等を展開いたしました。

総務委員会	センターの普及啓発、各種調査と新規会員の勧誘活動、会員の配分金及び事務費等の検討
安全委員会	会員の就業と安全確保及び事故の防止等
広報委員会	広報等の編集・作成
農業部会	切り干し芋作り事業（栽培・干し芋加工）
ふれあい事業部会	ふれあい広場事業の実施
ひまわり福祉部会	ボランティア活動（歌謡健康教室における健康体操）
職群班	職種ごとに必要に応じて職群班の編成及び就業先のリーダー選任
地区委員	地域会員とセンター事務所のパイプ役

(8) 社会参加の推進

会員が、次のボランティア活動等へ積極的に参加しました。

日 程	内 容	場 所	人 員
10月27日～ 28日	みんなの皆野ふれあいまつり (準備～本祭)	おまつり広場（役場前）	延べ 57名

11月3日	美の山公園育樹活動	美の山公園	20名
12月22日	長生荘ボランティア清掃	老人福祉センター長生荘	51名